

令和2年度 当初予算主な事業

事業名	地域福祉計画策定事業		
予算額	4,009	千円	新規・拡充 継続の別
<p>○ 目的</p> <p>社会福祉法第107条の規定に基づき、地域福祉の推進に関する事項として次に掲げる事項を一体的に定める計画を策定する。</p> <p>1. 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項 2. 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項 3. 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項</p> <p>○ 事業概要</p> <p>(地域福祉計画策定費) 「第3期京田辺市地域福祉計画」が令和2年度に計画年度が終了することから、「第4期京田辺市地域福祉計画」を以下のスケジュールにて策定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度 アンケート調査実施 ・令和3年度 計画策定業務 			
事業内容			
担当所属名	健康福祉部社会福祉課	直通電話番号	64 — 1371

令和2年度 当初予算主な事業

事業名	債権管理システム導入事業		
予算額	9,141	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的 生活保護関係債権及び貸付金に係る徴収業務について、業務の効率化・適正化・歳入の確保を目的に、債権管理システムを導入する。</p> <p>○ 事業概要 債権管理システムの導入により、督促・収納管理、返済に関する事務の効率化を図るほか、回収が見込めない債権など適切に処分することで、債権の適正化も図る。</p>		
担当所属名	健康福祉部社会福祉課	直通電話番号	64 - 1371

令和2年度 当初予算主な事業

事業名	絆ネット事業運営委託事業		
予算額	4,265	千円	新規・拡充 継続の別
<p>○ 目的</p> <p>地域福祉に関わる多様な関係機関の連携の中核的な役割を担う絆ネットコーディネーターを配置し、それぞれの立場で個別に展開されている地域福祉活動のネットワーク化を推進することにより、地域の福祉力を高める事を目的に実施する。</p>			継続
<p>○ 事業概要</p> <p>第3期地域福祉計画計画に基づき、社会福祉協議会にて地域福祉の具体的な事業展開の見通しを立てる「地域活動計画」が策定されている。</p> <p>地域福祉の担い手の一つである京田辺市社会福祉協議会に本事業の運営を委託し、絆ネットコーディネーターを中心に、社会福祉協議会の既存事業である地域懇談会等を基に、現在までに地域を限定して取り組んできたネットワークづくりをさらに広げ、連携・協力体制の構築を進める。</p>			
事業内容	<p>絆ネットワークイメージ図</p> <p>図示される組織構造は、京田辺市社会福祉協議会を中心とした輪型組織である。協議会の周囲には、区自治会、社協支部・分会、老人クラブ、ホランティア、介護事業所、市、保健所、医療機関、企業商店、警察消防の11つの機関が連携している。各機関間で「連絡調整」と「課題情報」がやり取りされる仕組みである。</p> <p>要配慮者をとりまく課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症や孤独死、虐待など要配慮者をとりまく課題や情報を地域から受け取り、ネットワークを通して共有する <p>要配慮者の見守り活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 見守り、サロン、模擬訓練など支援していくための取り組みを地域と考え、ネットワークを通して連絡・調整 		
担当所属名	健康福祉部社会福祉課	直通電話番号	64 ー 1371

令和2年度 当初予算主な事業

事業名	障がい者基幹相談支援センター事業（拡充）		
予算額	4,938 千円	新規・拡充 継続の別	拡充
事業内容	<p>○ 目的 障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた「地域生活支援拠点等」の機能の一つとして基幹相談支援センターにおける相談事業の体制の強化を図る。</p> <p>○ 事業概要 従来の基幹相談支援センターの業務</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 総合的・専門的な相談支援 (2) 地域の相談支援体制の強化の取組 (3) 地域自立支援協議会事務局機能の実施 (4) 地域移行・地域定着の促進の取組 (5) 権利擁護・虐待の防止の取組 <p>に加え、地域生活支援拠点等の機能として、京田辺市においては、面的整備とすることとし、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時における支援の必要な障がい者の登録（台帳の整備） ・24時間365日の相談支援体制の構築 <p>を追加し、令和2年10月から事業を開始する。</p>		
担当所属名	健康福祉部障がい福祉課	直通電話番号	64 - 1372

令和2年度 当初予算主な事業

事業名	障がい者緊急一時保護事業		
予算額	50 千円	新規・拡充 継続の別	新規
○ 目的 障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた「地域生活支援拠点等」の機能の一つとして、在宅での生活が困難となった障がい者を障がい者施設等において緊急かつ一時的に保護する。			
○ 事業概要 障がい者で次のいずれかに該当する者を障害者福祉施設等において一時的に保護する。（概ね5日以内） (1) 市内に住所を有し、その養護者から虐待を受けていると考えられる者並びに事故又は災害により在宅生活が困難である者。 (2) 養護者の緊急入院等により介護する者がいなくなった場合等、対象者を一時的に保護する必要があると市長が認める者。			
事業内容			
担当所属名	健康福祉部障がい福祉課	直通電話番号	64 — 1372

令和2年度 当初予算主な事業

事業名	親子の絆づくりプログラム事業		
予算額	249	千円	新規・拡充 継続の別
○ 目的			
<p>子どもの健全な成長には、適切な環境と適切な親の関わりが必要である。特に0歳時期にしっかりと“親子の絆”をつくることが、子どもにとっても親にとっても非常に大切なことである。「親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた”」を実施することにより、親としての成長の過程を支援し、同時に同じように初めて子育てをしている母親同士をつなげ、学び合い、支え合える地域社会の環境の構築を目指す。</p>			
○ 事業概要			
<p>【対象】概ね生後2～5か月児とその母親（20組まで／1クール） 【内容】 (1)安全で安心できる雰囲気の中、育児の困りごと、親としての迷いなどを話し合いながら、子育てに必要な知識を学ぶ参加型のプログラムを実施する。 (2)資格のあるファシリテーター2名で進行する。 (3)『こころの子育てインターねっと関西』（KKI）が独自に開発した親（参加者）用のテキストと子育てに必要な知識を整理したDVDを使用してプログラムを進める。</p>			
事業内容			
担当所属名	健康福祉部子育て支援課	直通電話番号	64 － 1377

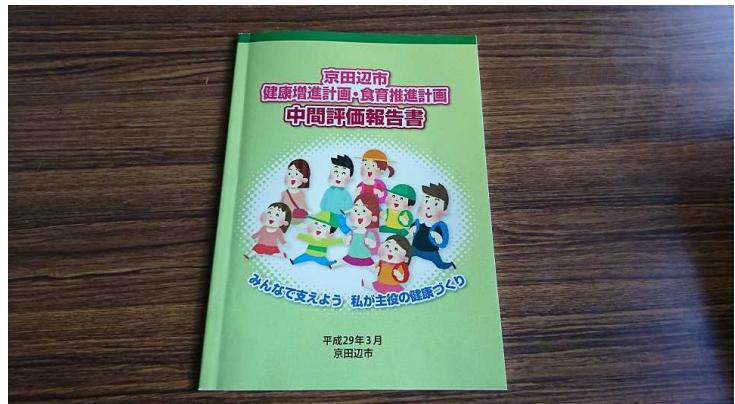
令和2年度 当初予算主な事業

事業名	ロタウイルスワクチン予防接種事業		
予算額	12,500 千円	新規・拡充 継続の別	新規
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>ロタウイルス感染症により世界では5歳未満の小児が年間約50万人死亡しているとされ、先進国では、死亡例は少ないが、嘔吐、下痢に伴う脱水や合併症での入院リスクが高い。</p> <p>このことから、「ロタウイルスワクチン」の予防接種を実施し、公衆衛生の向上を図る。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>予防接種法施行令に基づき、対象者への医療機関でのロタウイルスワクチンの個別予防接種を実施するもの。</p> <p>【対象者】令和2年8月生まれ以降の者</p>		
担当所属名	健康福祉部子育て支援課	直通電話番号	64 - 1377

令和2年度 当初予算主な事業

事業名	骨髓移植後等の予防接種再接種費用助成事業		
予算額	310	千円	新規・拡充 継続の別
			新規
			○ 目的
<p>骨髓移植、化学療法等の医療行為により、骨髓移植前に受けた予防接種法（昭和23年法律第68号）に基づく定期の予防接種による免疫が低下または消失した者が、任意で再度の予防接種を受けやすい環境を整備するため、京都府骨髓移植後等の予防接種再接種費助成事業補助金交付要綱に基づき、再接種を受ける場合に要する費用の助成を行う。</p>			
			○ 事業概要
<p>【対象】 ①20歳未満であること。 ②接種日において、京田辺市に住所を有すること。 ③骨髓移植等により、定期予防接種として接種済みのワクチンの抗体を失ったため、再接種の必要があると医師に判断されている者。</p> <p>【対象となる予防接種】 以下に掲げる要件全てに該当すること。 ①予防接種法第2条第2項に規定するA類疾病のうち、医師の指示により再接種を行うもの。 ②予防接種実施規則（昭和33年厚生省令第27号）に基づき、適正に接種されたもの。</p>			
事業内容			
担当所属名	健康福祉部子育て支援課	直通電話番号	64 - 1377

令和2年度 当初予算主な事業

事業名	健康増進計画・食育推進計画策定事業		
予算額	3,652	千円	新規・拡充 継続の別
			新規
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的 現計画期間が令和3年度で終了するため、第2次計画策定に向けて策定業務を委託する。（債務負担行為：令和2～3年度 3,200千円 計6,852千円） ○ 事業概要 令和2年度から3年度の2年間で計画策定を実施。第一段階としてアンケート調査等を実施し、現状の課題点を分析等を行い、計画策定に向けたデータ収集を行う。 ○ 実施方法 <令和2年度> アンケート調査・集計・分析 健康づくり推進協議会・庁舎内ワーキング部会等での意見を集約 (各2回実施) アンケート報告書の作成 <令和3年度> 健康づくり推進協議会・庁舎内ワーキング部会等での意見を集約 パブリックコメントの実施 骨子の作成 計画書及び概要版の作成 		
			
担当所属名	健康福祉部健康推進課	直通電話番号	64 — 1335

令和2年度 当初予算主な事業

事業名	公共施設LED化事業（保健センター）		
予算額	2,200 千円	新規・拡充 継続の別	新規
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的 保健センターにおいて、省エネルギー化を図るため、照明器具をLED化する。 ○ 事業概要 令和3年以降、水銀灯の製造が中止されるため、水銀灯をLED照明に取り替える。 ○ 実施方法 保健センター全室の照明器具のLED化 既存照明器具撤去、新設工事、廃棄物処分 1階：事務室、薬局、研修室、中倉庫、トイレ、診察室、処置室 第一保健指導室、廊下等 2階：事務室、第二保健指導室、第三保健指導室、相談室1～4 トイレ、廊下等 		
担当所属名	健康福祉部健康推進課	直通電話番号	64 ー 1335

令和2年度 当初予算主な事業

事業名	保健センター空調等更新事業		
予算額	15,452 千円	新規・拡充 継続の別	新規
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的 保健センターにおいて、空調機器の更新、自動扉一式の取り替えを行い、施設環境の改善を図る。 ○ 事業概要 保健センターの空調設備の機器交換及び1階正面入口自動扉装置一式を取替する。 ○ 事業費内訳 空調機器入替工事 14,681,150円 自動扉装置取替 770,000円 		
担当所属名	健康福祉部健康推進課	直通電話番号	64 - 1335